| 学校番号 | １００７ |
|---|---|

# 令和３年度　看護科

| 教科 | 看護 | 科目 | 人体と看護 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 講座名 | 看護基礎医学 | | | | | | |
| 使用教科書 | 人体と看護（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年時の「人体と看護」の知識をもとに、より多くの解剖学を学んでいきます。また、時事問題や医療の問題について考え、発表する機会もありますので積極的に参加しましょう。より専門的な内容になるので、その都度しっかり覚えていくようにしてください。

## ２　学習の到達目標

看護職を目指すにあたり、知っておくべき看護・医学についての知識や、研究・発表する力を身につける。人体・看護についての興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていく。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 看護を行うために必要な医学と保健について関心をもち、人間の健康と疾病及びこれらと環境との関係について理解しようと意欲的に取り組むと共に、実践的な態度を身につけている。 | 人間の健康と疾病及びこれらと環境との関係について思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して人間の健康状態を適切に判断する能力を身に付けている。 | 看護を行うために必要な医学と保健に関する基礎的･基本的な知識を基盤として、人間の健康と疾病及びこれらと環境との関係について理解を深め、その成果を的確に表現する。 | 看護を行うために必要な医学と保健に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、人間の健康と疾病及びこれらと環境との関係について理解している。 |
| 評価方法 | 定期テスト<br>学習状況の観察等 | 定期テスト<br>レポート、発表<br>自己評価・相互評価等 | 定期テスト<br>レポート、発表<br>自己評価･相互評価等 | 定期テスト<br>学習状況の観察等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| ターム | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1ターム | 生殖器系 | ・生殖器系(男性)、生殖器系（女性）の構造、働きについて知る。<br>・個体の発生のしくみについて知る。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 生殖器系について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている<br>b: 命について考えを深めることができる<br>c: 命の神秘・重要性について、これまで学んだ知識と情報を整理、活用する技術を身に付けている<br>d: 生殖器系に関する知識を身に付けている | 授業観察<br>プリント<br>定期考査 |
| 2ターム | 神経系 | ・神経系の各部の名称、働き、疾患について知る。<br>・脳死、臓器移植、など、看護や福祉現場を取り巻く様々な問題について理解を深める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 神経系について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている<br>b: 脳死・臓器移植について考えを深めることができる<br>c: 時事問題に関する考えをまとめ、発表する技術を習得している<br>d: 神経系に関する知識、時事問題に関する知識を身に付けている | 授業観察<br>プリント<br>定期考査 |
| 3ターム | 感覚器系・内分泌系 | ・感覚器系の各部の名称、働き、疾患について知る。<br>・内分泌系の各部の名称、働き、疾患について知る。<br>・皮膚の働き、疾患について知る | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 感覚器系、内分泌系について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている<br>b: 五感の働きが悪い場合、ホルモンの働きが悪い場合などについて考えを深めることができる<br>c: 各器官について学んだことをまとめ、発表する技術を習得している<br>d: 感覚器系・内分泌系の名称や働き、疾患に関する知識を身に付けている | 授業観察<br>プリント<br>定期考査 |
| 4ターム | 感染症の治療 | ・身近な薬について理解する。<br>・がんについて理解する<br>・死について考える | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 薬やがんについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている<br>b: 病気になった患者さんの気持ちを想像し、死について考えを深めることができる<br>c: 薬を扱う技術を体験している<br>d: 薬・がんに関する知識を身に付けている | 授業観察<br>プリント<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。